



日本共産党

北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.256 2013.4.3

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は 090-2156-3510
お気軽に

いじめで遊ぶ子どもたち

日本共産党北区議員団は3月31日、北とぴあ・スカイホールで「子どもの目線で考える…講演と交流のつどい」を開催。大東文化大の村山士郎教授が「いじめで遊ぶ子どもたち」と題して講演をおこないました。

日本共産党北区議員団主催の学習会 村山士郎 大東文化大 教授 が講演



発言する村山士郎教授。一番奥は、そねはじめ前都議

1980年代からいじめ問題に正面からとりくんでいる村山教授は、大津市で起きた自殺事件などに言及し「最近の傾向は、いじめが軽いノリでおこなわれており、加害者に悪いことをしているという意識がないこと」だとのべました。その上で、いじめ

問題の社会的背景には、①学力競争、②「良い子」でいることを強要するプレッシャー、③豊かな消費社会、④子どもたちの疲弊、⑤格差社会、があると指摘。どの学校現場でも、いじめが「ある」ことを前提に対策を講じる必要があると強調しました。

道徳の「教科化」では解決しない



さらに村山教授は、安倍内閣が、いじめ問題の解決のために道徳を「教科」にしようとしていることについて「道徳の教科書をつくり、それを評価基準にして子どもたちに点数をつけるなど、問題の解決に逆行だ」と、厳しく指摘しました。会場からの発言も受け、そねはじめ前都議が閉会のあいさつをおこないました。

◀講演を受けてのディスカッション。会場から次々と質問や意見が寄せられました。

暮らし応援する政治を

日本共産党志茂・赤羽後援会が「都区政報告のつどい」ひらく

3月30日に赤羽会館で開かれた日本共産党志茂・赤羽後援会主催の「都区政報告のつどい」。冒頭、そねはじめ前都議は、高すぎる国保料や介護保険料を年額5千円ずつ引き下げ、足りない特養ホーム・保育園を増設するなど、住民の切実な願いにこたえるために全力をつくすと決意をのべました。

区民には負担、まちづくりは積立

続いて私から、北区議会第1回定例会の内容をスライドで報告させていただきました。北区は新年度予算で、高齢者入浴券や私道私下水改修の自己負担引



あいさつする、そねはじめ前都議

き上げ・導入など区民に新たな負担を課す一方、十条まちづくりや新庁舎建設には累計で数十億もの積み立てをおこないます。

区民にまともな説明もないまま王子駅前への新庁舎建設を既成事実化しようとする動きもあり、まちづくりは、住民合意が大前提でなければならぬと強調しました。

あまりに乱暴な区民施設15%削減
区がまとめた「公共施設再配置方針案」は、今後20年間で区民施設を15%削減しようというもの。机上の計算で施設を減らし、民間企業の儲け口を広げてやるやり方は、あまりにも乱暴であり認められないと指摘しました。
(のの山けん)



スライドを使って報告する、のの山区議

日本共産党演説会

おはなし



切り絵
そねはじめ

4月29日(月・休)

午後2時開会

赤羽会館講堂

お誘いあわせてご参加ください

【主催】日本共産党北地区委員会

☎ 03-3906-2821



党政政策委員長・
副委員長

小池
あきら



党都雇用と就活
対策室長

吉良
よし子



前都議会議員

そね
はじめ



党衆院東京12区
青年部長

池内
さおり